

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-528070(P2004-528070A)
 【公表日】平成 16 年 9 月 16 日 (2004.9.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-036
 【出願番号】特願 2002-564175(P2002-564175)
 【国際特許分類第 7 版】

A 4 5 D 44/00

A 4 5 C 11/00

D 0 4 H 3/16

【F I】

A 4 5 D 44/00 Z

A 4 5 C 11/00 S

D 0 4 H 3/16

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 1 月 12 日 (2005.1.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

使用者の肌または髪を拭くのに適切な複数の油吸収ワイブ材のパッケージであって、前記ワイブ材が、重なり合う形で配置され、前記ワイブ材が、油が付与されると透明度を変える透明度が 65 未満の熱可塑性材料の油吸収性多孔性フィルム状基材を含み、前記多孔性基材が、前記パッケージ内の隣接したワイブ材と接触している前記ワイブ材の材料表面領域の少なくとも一部分の 1 パーセントから 50 パーセントにわたって、前記ワイブ材の非エンボス部分より透明度が高いエンボスパターンを有する、油吸収ワイブ材のパッケージ。

【請求項 2】

前記エンボスパターンが、前記ワイブ材の材料表面領域のエンボス部分の 2 パーセントから 25 パーセントにわたっており、かつ最も狭い寸法において幅が 0.1 mm から 10 mm であるエンボスエレメントから形成される、請求項 1 に記載の油吸収ワイブ材のパッケージ。

【請求項 3】

前記エンボスパターンが、前記ワイブ材の非エンボス部分より少なくとも 10 パーセントポイントが高い透明度を有する、請求項 1 に記載の油吸収ワイブ材のパッケージ。

【請求項 4】

前記油吸収ワイブ材が、熱可塑性材料からなる多孔性延伸フィルムを含み、かつ

前記多孔性延伸フィルムの単位面積あたりの間隙容積が、以下の式：

$$\text{単位面積あたりの間隙容積} = \left[\text{フィルム厚さ}(\text{cm}) \times 1(\text{cm}) \times 1(\text{cm}) \times \text{空隙率}(\%) \right] / 100$$

(ここで、空隙率は、多孔性フィルムの空隙のパーセンテージである)

で計算すると、 0.0001 cm^3 から 0.005 cm^3 の範囲である、請求項 1 に記載の油吸収ワイブ材のパッケージ。

【請求項 5】

前記多孔性油吸収ワイブ材が熱可塑性繊維の一体化メルトブローンウェブを含む、請求項 1 に記載の油吸収ワイブ材のパッケージ。

【請求項 6】

油が存在しない場合には前記多孔性油吸収ワイブ材が 6 5 以下の不透明度の値を有し、1 平方センチメートルあたり 6 グラム以下の油が付与されると、そのウェブが透明度を少なくとも 30 だけ変える、請求項 1 に記載の油吸収ワイブ材のパッケージ。

【請求項 7】

前記熱可塑性繊維が 1 0 マイクロメートル以下の平均直径を有し、前記ワイブが 4 0 g / m² 以下の坪量を有する、請求項 5 に記載の油吸収ワイブ材のパッケージ。

【請求項 8】

前記ワイブ材が 40 パーセントから 80 パーセントの空隙容積を有する、請求項 6 に記載の油吸収ワイブ材のパッケージ。

【請求項 9】

前記ワイブ材の材料の平均孔径が 3 ミクロンから 15 ミクロンである、請求項 5 に記載の油吸収ワイブ材のパッケージ。

【請求項 10】

前記ワイブ材が 0 . 7 m g / c m² から 6 m g / c m² の油吸収能力を有する、請求項 5 に記載の油吸収ワイブ材のパッケージ。

【請求項 11】

前記ワイブ材が 8 グラム以下の風合いを有する、請求項 1 に記載の油吸収ワイブ材のパッケージ。